

上越まち映画「スイッチバック!!」

中学生道徳

作品紹介

本作は公益社団法人上越青年会議所が創立50周年を記念し製作しました。

上越市と妙高市を舞台に「現在の記憶」を「未来への記録」に残すことにより、次世代の人々に現在の暮らしや地域文化など、今ある価値を発信します。朝市や雁木通りに根付く地域の心の触れ合いを描き、歴史と文化、山と海に囲まれた風光明媚な古き良き薫り残る「上越」を映像化しました。出演者には上越市と妙高市から公募し、オーディションを経て、小学生から社会人までの21人のキャストが選ばれました。上越市と妙高市が一丸となって製作し、市民のための市民力による「まち映画」がここに完成しました。監督は市民協働型の「まち映画」を数多くの撮り続ける藤橋誠。本編74分。ロケ地39箇所。ご協力いただいた団体・企業数約50社。エキストラ出演者約150名。すべて上越・妙高市内のみで構成されています。

主な登場人物

小暮未来（15）・・・直江津中等に通う女子中学生。廃部寸前の写真部所属。人生としての助走期間を楽しんでいる。

仲代 玄（18）・・・剣道教室に通うがいつになっても上達しない。2年前両親が他界し姉と住んでいる。

大川佳子（11）・・・市内の小学校に通う童話好きな小学生。人魚がいることを信じている。

あらすじ

小暮未来は、写真部に所属する中学生。ある日、写真部が実績のなさから廃部の危機にあることを知らされ、気持ちを高め、コンテスト出品用の写真撮影に市内を出回るのだが、今ひとつ乗り気になれない。恋愛活動に勤しむ同級生や目標が明確な先輩に対し、羨望と嫉妬心と将来に対する不安を感じている。

仲代玄は、地元の剣道教室に通う高校生。亡き父から譲り受けた竹刀片手に、いつか親のように剣道で一流になりたいと望んではいるものの、もともと運動神経が鈍い玄は、なかなか思うように腕が上達せず、教室の年下から馬鹿にされる日々。ある日、背水の陣と決意し、教室イチの腕前の中学生に挑戦することに。

大川佳子は父子家庭に育つ小学生。記憶の奥底に母が読み聞かせてくれた絵本や童話の楽しさが眠っており、それを呼び覚ますためにも日々図書館に通い、絵本を読みあさっている。市内出身の小川未明の小説「赤い蠟燭と人魚」に衝撃を受け、直江津の海岸線を歩いては、人魚へと母への想いを馳せている。

そんな上越市内に暮らす3人が、それぞれの過去と現実を見つめ、将来に向かって加速して行くのだが・・・。十代の揺れ動く心と、家族愛、変わりつつある街の姿を描いた、十代の「助走」物語です。

主題設定について

我々の上越地域は、港と鉄道のまち直江津、悠久の史跡である春日山、歴史文化のまち高田、そして地域のシンボルともいえる妙高山麓を抱える妙高市のように、数多くの豊かな地域資源に育まれて、これまで両市は市町村合併を経て発展を遂げてまいりました。しかし、今の地域を取り巻く環境を考えると、今まで選択した事のない問題（※）が山積しており、未来をも左右する重要な分岐点であると強い危機感を抱いています。中学生の時期は一般的に、地域の史

跡、行事、伝統文化を知ってはいるものの、地域に残る行事や伝統文化に触れたり、体験したりする機会は少なくなっていると感じます。

本映画においては、10代の主人公が人生の助走期間として市内各所で物語が展開されます。生徒が普段慣れ親しんだ場所で物語が展開されることから、比較的身近に感じていただきやすい内容に仕上がっています。地域全体を見つめる郷土愛や、主人公の心の動きを自分に重ね自分の未来を考えられるような作品です。

(※) 今まで選択した事のない問題＝少子高齢化、限界集落、貧困層の増加、障害児の増加、中心市街地の衰退、新幹線開業に伴う新駅周辺の開発、新エネルギーの開発

道徳授業での活用ポイント

映画全編から郷土のことを学ぶ道徳授業が展開できます。また、映画全編を見終わった後に、特定の場面に焦点化して、道徳授業を展開することもできます。『中学校学習指導要領』の内容項目をあげれば、1-(5)反省と向上、個性伸長、2-(3)友情、2-(4)異性理解、4-(5)勤労奉仕、4-(6)家族愛、4-(8)郷土愛などを教える授業が構想できます。身近な場所が舞台になっているだけに、生徒たちは興味をもって授業に参加できます。

文化財、史跡旧跡、公園、文化、風習は、たくさんの住民の方々の手で守られています（所有者の管理だけでなく町内会や有志の方における運営管理、話し手としての語り継ぎ、お祭りの実行委員会。公園や海岸などはたくさんの住民による清掃活動が常に行われています）。誰がどんな活動をしているのか、あなたならどんなことができそうか、ということなどについてもぜひ生徒たちに考えさせてあげたいと思います。

指導案1 「私たちの郷土」

■ねらい 自らの郷土を見直し、地域に根付く伝統や風景、文化、歴史そして人情などを大切にし、地域社会の一員として郷土を愛する心情を養う。

■内容項目 4-(8)郷土愛

■本時の展開

	主な発問と予想される生徒の反応	指導上の留意点
導入	(1) 「スイッチバック!!」の感想を聞かせてください。 ・知っている場所がたくさんあった。 ・知らない場所もあった。	○地域のよさに目を向けさせる。
展開	(2) グループで、映像に出てきた場所（上越、妙高市内ロケ地39箇所）を2つ、3つあげて、その場所の「云われ」やその場所での思い出について話し合ってみましょう。あとで班ごとに発表してもらいます。 ・あの海岸へは小さい頃、お父さんで行ったよ。 ・あの駅はもう無くなったよね。 (3) では、班長さん、代表して発表してください。	○知っている場所を掘り下げることがもちろんのこと、行ったことがない場所（知らない場所）についても班員の話から想像をふくらませる。

終 末	<p>(4) あなたにとって「この町でなくてはならないという大事なもの」は何ですか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・上越独自に伝わっている伝統や文化。 ・ここにしかない地域のつながりや雰囲気。 	<p>○あるいは、郷土のために自分にできることは何かを考えさせるのもよい。</p>
--------	---	---

■評価の観点

- ・話し合いを通して、郷土への思いを深めることができたか。

指導案2 「15歳の悩み」

- ねらい 自己を見つめ、自己の向上を図るとともに、個性を伸ばして充実した生き方を追求しようとする態度を育む。

- 内容項目 1-(5)反省と向上、個性慎重 (関連項目 2-(4)異性理解、4-(8)郷土愛)

■本時の展開

	主な発問と予想される生徒の反応	指導上の留意点
導 入	<p>(1) 「スイッチバック!!」を見て、どの場面が印象に残りましたか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・最後の駅で写真を撮る場面。 ・剣道の試合で高校生の玄さんが勝った場面が不思議だった。 	<p>○印象的な場面を尋ねる。</p>
展 開	<p>(2) 私は、未来さんが雁木通り商店街で先生に問いかけた場面（最初から55分後の場面）が印象的でした。未来さんは「先生は、不安とか迷いとか、私たちくらいのか、ありましたか？」って聞いてたよね。「不安だらけで、迷いだらけなんです」とも言ってたよね。何に対してそんなに不安だったのだろうか</p> <ul style="list-style-type: none"> ・デートの後だから、恋することかな。 ・友だち関係じゃないのかな。 ・将来のことかも・・・ <p>(3) 間々田先生は、「それがフツーの15歳なんじゃないのか」って言ってたけど、それはどういう意味だと思いますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・15歳頃は、誰だって不安で迷っているということだと思います。 <p>(4) でも、未来さんは、デートして楽しかったんじゃないのかな。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・そんなことないですよ。やはり不安だったんだと思います。 <p>(5) 玄さんと未来さんは、この後どうなったんだろうね。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・映画の最後の場面は、一年後にも上越でデートしているということだと思うので、ずっとお付き合いしているのだと思います。 	<p>○教師にとって印象に残った場面としてこの場面を提示し、不安定な思春期の問題を取り上げ、他の関連項目にも触れながら、話し合いを進める。</p> <p>○生徒の答えに応じて、臨機応変に対応する。</p> <p>○班ごとに話し合い、全体で発表するというスタイルでもよい。</p> <p>○思春期の不安定な気持ちに寄り添いつつ、健全な異性関係についても触れられるとよい。</p>

終末	<p>(6) さて、私にも15歳の頃はありました。たぶん、いろいろ迷っていて不安だったと思います。では今は迷ってないのかというと、毎日迷っています。大人になっても、不安を抱えながら振り返りつつ人生を歩んでいくのだと思います。皆さんにも、これからいろんな出来事が待っていることでしょう。楽しいこともたくさんあるでしょうが、つらい体験もあるかもしれません。そんなときでも、お父さんやお母さん、そして地域の人たちが見守っているということを忘れないでいてほしいと思います。</p>	<p>○最後は教師の説話で終る。自己の生き方の省察を取り上げながら、映画のテーマを生かし、郷土で生きるということを意識させるのが望ましい。</p>
----	--	---

■評価の観点

- ・話し合いを通して、自己の生き方を追求しようとする態度が育まれたか。

注) 一つの内容項目に絞るのが道徳授業の基本形だが、そのように展開した授業でも、生徒たちの道徳的価値の獲得は多様である。この指導案2ではそうした点を踏まえ、関連項目という形で多様な道徳的価値を扱えるような展開を構想した。

上越まち映画 『スイッチバック!!』

組	番	名前	
---	---	----	--

1. 映像に出てきた場所の云われや思い出について書いてみましょう。

一つ目

二つ目

三つ目

2. 話し合いで出てきた意見を書きとめましょう。

3. あなたにとって「この町でなくてはならないという大事なもの」は何ですか。

上越まち映画 『スイッチバック!!』

組	番	名前	
---	---	----	--

1.

2.

3.

4.
